

自啓教育の基本理念

(1) 自啓教育の目標

自ら学ぶ力の育成

(2) 学習の成立

自らが問題を持ち、その解決に向けて粘り強く取り組む子供

※ 自己啓発（自啓）教育は、全人教育の精神に立つものであり、その目標とするところは、今日求められている「生きる力」の育成そのものである。

そして、目標達成のために、学習指導において、教師主導による一斉画一的な指導からの質的転換を図り、学習の主体者である子供が、「自らが学ぶ」学習指導を推進していこうとするものである。

(3) 自啓教育が目指す学習
における子供の姿

学習は子供の中で成立し、学習を成立させるのは子供である。
つまり、学習の主体者は子供であり、教師は、子供の支援者である。

【3つの理念】

個性化・個別化

一人一人を大切に、個性の伸長を図る。

労作化

体験学習、作業学習を重視する。

自発化

子供の主体的な発想、意欲、活動を大切にする。

【教師の心構え】

立つな

子供の前面に立って教え込むのではなく、個に応じた指導をせよ！

話すな

子供の学習や活動を確保するため、教師の発言を精選し、的確にせよ！

整えよ

子供は学習計画を、教師は教材や学習資料を整えよ！

【開かれた学校】

人間の壁を開く

時間の壁を開く

空間の壁を開く

教材の壁を開く